



子供一人一人の教育的ニーズに応じた教育

校長 羽田野庸史

学校には、様々な個性や特性をもった子供たちがいます。その個性や特性の集まりが、クラスや学校の雰囲気を作り出しています。そして、子供一人一人の教育的ニーズに応じて、多様な教育の場も確保されています。

私事ですが、私は喘息があり、小学校時代、毎月、2、3日は必ず学校を休んでいました。お医者さんに往診していただいたり、いくつかの病院に通ったりしたことを覚えています。きっと私の母親は自分の子供に合った病院を探し求めて複数の病院を回ったのでしょう。

そんな中、喘息を治すため、4年生のとき、親元を離れて一年間、箱根にある健康学園で過ごすことになりました。当時、私は、新宿区の小学校に通っていましたが、新宿区は、身体の弱い子のために箱根に施設をもっていたのです。親元を離れ、その施設で学習や生活をするわけです。家族の元を離れることのつらさは、筆舌に尽くし難いものがありました。また、自分が親になってみると、この時の親の決断には、感心させられます。両親は、私の勉強が遅れるかもしれないことを危惧していましたが、それよりも身体がまず第一と考えたのだと思います。

そして、空気のきれいな箱根で過ごした一年間は、一度も喘息が出ることはありませんでした。5年生になって、地元の小学校に戻りました。喘息が出ることはありましたが、その回数は明らかに減りました。そして、5、6年、中学1、2年と学年が進むに連れて欠席は確実に減っていき、中学3年では、一日も休むことなく学校に通うことができました。

実は、遠回りのように見えても、子供一人一人の教育的ニーズに応じた教育を受けさせることが、子供の可能性を最大限に伸ばし、その子がその子らしく生きることにつながるのだと思います。そういった意味でも、私たち大人には、子供一人一人の教育的ニーズを見極め、それに応じた教育を提供する責務があると言えるのではないのでしょうか？

【スマイル・ルームへの通室及び

学習支援員の配置の申し込みについて】

集団生活への適応や学習について気になる児童を対象に本校において通室指導を行う「スマイルルーム」を平成28年度より開室しています。スマイルルームは、生活面や学習面での難しさを克服・改善する指導を行うために設けられた教室です。

また、所属する学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別に支援を行う学習支援員についても今まで通り配置を希望することができます。

平成31年度4月よりスマイルルームへの通室や学習支援員の配置を新規に希望される保護者の方は、10月20日(土)までに、担任、下里彩香主任養護教諭、斎田佳子教諭、小林恵里花教諭(いずれも特別支援コーディネーター)、副校長にご相談ください。

10月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後 遊び
1	月	都民の日	
2	火	安全指導	3～6
3	水	4時間授業(3年1組と4年1組は5時間授業)	なし
4	木	遠足(3・4年)移動教室説明会(6年)	4～6
5	金	委員会発表集会 避難訓練 通学路点検	なし
6	土	港区民まつり	
7	日	港区民まつり	
8	月	体育の日	
9	火		4～6
10	水	4時間授業(2年2組は5時間授業) 生活科見学(1年)	なし
11	木	委員会発表集会	4～6
12	金	プラネタリウム見学(4年)	3～6
13	土		
14	日		
15	月	委員会活動	5～6
16	火	区連合運動会(6年)	3～6
17	水	学校公開 学校説明会 三菱自動車体験授業(5年)	なし
18	木	学校公開 音楽朝会	4～6
19	金		3～6
20	土	お話会(1・3・5年)日本文化の時間	なし
21	日		
22	月	親子読書開始 クラブ活動	4～6
23	火	区連合運動会予備日	3～6
24	水	生活科見学予備日(1年)	なし
25	木	体育朝会(1・2・3年)	4～6
26	金	体育朝会(4・5・6年)	3～6
27	土		
28	日		
29	月	クラブ活動	4～6
30	火	4時間授業(5年生は5時間授業)	なし
31	水		なし

10月の生活目標

生活指導主任 河合 一洋

「心と体をきたえよう」

2学期がスタートして1カ月が経ち、暑さもだいぶ和らいできました。スポーツをするには絶好の季節です。天気の良い日には、友達と一緒に外で元気に体を動かし、心と体をきたえましょう。